

学校図書館だより



6月号

令和8年 6月1日発行
港区立青山中学校
校長 佐々木 希久子
学校司書 武田 優子
土谷 繭子
三島 裕美
図書館支援員 桑畑 恵美

しとしと、雨の降る日が多くなってきました。もうすぐ梅雨入りですね。紫陽花も、雨粒をまとってきれいに咲いています。雨が降って外で遊ぶことができない日は、図書館にくるチャンスです！青山中図書館には、人気の小説や漫画、部活や勉強に役立つ本など、いろいろな本がそろっています。新しい本も続々届いています。ぜひ気軽に図書館に来てください！

<今月の特集展示>

『人を支える動物』

盲導犬、介助犬は人の生活を助ける大事な仕事をしてくれます。また、動物は人を安心させたり、癒したり、心も支えてくれる大切な存在です。



<コーナー紹介①>

『新聞コーナー』

青山中学校図書館には新聞が6紙、毎日届きます。お昼休みに新聞を並べるのは図書委員のお仕事です。6紙もあるのは区内の中学校でも珍しく、「新聞一面」の各紙の違い等、よくわかります。



雨の日は図書館へどうぞ！ 青山中図書館イベント

「読書スタンプラリー」

「七夕飾り」

を開催します♪



読書スタンプラリー

日時 : 6月9日(火)～7月7日(火)
参加資格: 青山中図書館で本を借りた人はだれでも参加できます。
参加方法: 青中図書館の本貸出1冊につき、スタンプカードにスタンプを1つ押します。
スタンプが5つたまったらプレゼントを差し上げます。

七夕飾り

日時 : 6月9日(火)～7月7日(火)
参加資格: 青山中図書館に来た人はだれでも参加できます。
参加方法: 短冊に願い事を書いて飾ってください。
<注意> 願い事なので、人を傷つける内容、個人が特定される内容等は飾ることができません。
気を付けてください。



毎年恒例、青中図書館雨の日 WELCOME 企画です♪
図書館のルールを守って、イベントを楽しんでくださいね！図書館で待っています！



名作まちがいさがし

高野聖

泉鏡花



★激ムズポイントのヒント:ひび割れ

宗朝が夜更けに寝つけないでいると、板戸一枚を隔てた外で羊や牛、鳥などの獣が鳴き騒ぎ、魍魎(まじまじ)のような存在がいる気配がして、家がぐらぐら揺らめきました。慄いた宗朝は、一心不乱に仏教の真言の陀羅尼(だらに)を唱えました。下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。

作品の概要・解説

主人公の「私」が、旅の道連れになった高野山の僧の宗朝(そうちょう)に、彼が若いころに体験した怪異な出来事を聞かせてもらう物語です。修行僧だった宗朝が飛騨(ひし)の山越えの途中、危険な旧道に行つた薬売りを助けに追うと、蛇や蛙が出てきて、散々な目にあります。馬の鳴き声が聞こえた方に進むと、山中の家に妖艶な女と知恵遅れの少年が住んでいました。一宿することになった宗朝は、川に水浴びに行つて、肌を露わにした女に背中を流してもらい動揺しますが、誘惑を退

けます。その夜、床につくと、たくさんのお獣が家の周囲を取り巻くあやしい気配がして――。女は、旅で疲れた宗朝を優しく癒やしますが、一方で、女に邪な気持ちを抱いた男を動物に変えてしまう二面性を持っています。

泉鏡花(一八七三―一九三九年)は、明治後期から昭和初期に活躍した小説家、劇作家です。独自の美的世界を構築し、浪漫と幻想の作家といわれています。本作は、鏡花の代表作の中編です。ほかの作品には、「外科室」「罫糸園」「歌行燈」などがあります。

※『高野聖』はKADOKAWA、新潮社、集英社、岩波書店などから発行されています。



6月 おすすめの本



『謎の香りはパン屋から』 913/ツ 土屋うさぎ/著 (宝島社)



大阪の小さなパン屋でアルバイトをしている大学生・小春は、人の行動の中にある「ちょっとした違和感」に気づくのが得意。小春とパン屋のまわりで起こる事件を次々と解決していきます。事件は大きなものではありませんが、その裏には人それぞれの悩みや思いが隠れています。美味しいパンの香りに包まれるような優しい読後感を味わってください！ (武田)

『しずくのぼうけん』 E989/ブ M・マルリコフスカ/作



うちだりさこ/訳 B・ブテンコ/絵 (福音館書店)

バケツからぴしゃんと飛び出した水のしずくは、お日さまに照らされて気体となり空の上へ。それから姿が変わっていきます。ポーランドの作家の文章はリズム感を持って訳され、ショパンのピアノ曲のような感じもします。 (土谷)

『リカバリー・カバヒコ』 913/ア 青山美智子/著 (光文社)



2025年度 都立高校入試出題作品

「カバヒコって何？」その正体は、読んでからの楽しみ。悩みを抱えた人たちが、不思議な“カバヒコ”と出会い、少しずつ前を向いていく物語です。読み終わると心が温かくなり、誰かに優しくしたくなる1冊です。 (三島)

『ツナグ』 913/ツ 辻村深月/著 (新潮社)



中学生に読んでほしい30冊の中の1冊です。「使者」によって、亡くなった人と1度だけ再会ができるという物語。5人の主人公が、それぞれにすれ違ってしまった家族や友達に再会し、言えなかった感謝や謝罪の気持ちを伝えます。自分も周りの人も大切にすること、今を大事に生きることを教えてくれます。 (桑畑)